

特定非営利活動法人

令和3年11月1日

明るいシステム倶楽部 会報11月号

(2021年)

去る8月下旬以降、新規PCR陽性者数の大幅減少が続く中、この10月初めに緊急事態宣言は解除となりました。今後も気を緩めず、感染拡大防止に留意したいものです。

ただ、聞き伝えですが、今まで感染対策が感染症の専門家の推す感染防止にかなり偏っていたようにも思え、むしろ免疫学の専門家の意見にもっと耳を傾ける時期に来たのではないのでしょうか。感染症は、ウイルスの暴露と個人の免疫力との相対的なものの中で感染や発症に至る訳ですが、免疫力については今もワクチン接種一本槍のような気がしています。

高齢者、基礎疾患を持つ方や一部の医療従事者等は、優先的に接種することに異論はないでしょう。しかし、20代以下の若者や低年齢者は極端に重症者が少なく、死亡者もほぼ発生していない現状では、接種による長期的なリスクを踏まえ慎重に対処する必要があるように思えますし、一人一人の免疫力を維持向上させる日常の努力が肝要かと考えます。

さて、当倶楽部の動きですが、第55回明るいセミナーにつきましては、上記の宣言解除を背景に12月1日(水)に開催を予定しており、冬場を迎える中で若干の不安はありますが、久しぶりに会員の皆様と共に充実したセミナーとなることを期待しています。

また、今までコロナ禍で積み残されてきた諸作業につきましては、認証企業への認証更新手続きや年会費ご納入の依頼等、9月末より順次再開いたしており、当倶楽部の健全運営へ向けて今後も取り組んで参りたいと思います。

更に、明るいシステムの推進・拡充する一環として、AKS認証候補企業の発掘に精力的にかつ継続的に取り組む所存ですので、今後とも当倶楽部に対しまして、陰に陽にお力添えを賜りたく、謹んで心よりお願い申しあげ次第でございます。

< 11月の送付物 >

- ・日本一明るい経済新聞 11月号
- ・ビープラッツプレス 最新号
- ・年会費ご納入のお願い(該当者のみ)



< 11月の活動予定 >

| | | |
|------------------------|--------------------|-------------|
| 11/13(土)「気楽なZOOMサロン」⑫ | 当倶楽部会員専用の交流の場です。 | 20:00~21:30 |
| 11/17(水) 臨時役員会議⑬ | 「明るいシステム導入のメリットほか」 | 13:30~15:30 |
| 11/19(金) 仏教雑学講座 | 河本 雪夫 会員 | 17:30~19:30 |
| AKS 市民大学 (ZOOM) | | |
| 11/10(水) 菊池教室⑩ | 「感性を育む和学講座」 | 20:00~21:30 |
| 11/24(水) 柴原・松居教室③ | 「みんなで考える明るい職場」 | 20:00~21:30 |
| 11/27(土) 宮崎教室 | 「もやもや解決法」 | 20:00~21:30 |

はたらく
—— 「傍楽」という意識 ——

川上 広幸

コンサルタント先で、「うちの社員は仕事に対する目的意識が足りない」というご相談をよく受けます。ご要望に沿った形で社員教育をさせていただくわけですが、いくつかの問題点のうち今回の場合、一つの核心は『目的と手段が不明瞭である』ということになるでしょうか。



とある日曜日、こんなことがありました。外出しようとしている女房に「洗濯物干しといて」とお願いされたんです。私は、粛々と干したわけです。帰った女房が一言「洗濯物に風が通るように干さないで乾かへんやん」私は内心「そんなんわからんし、干してって言うから干しといたのに、褒められこそすれ、怒られることはないじゃないの」と感じています。そこで、気が付きました。私は洗濯物を干すのが目的、女房は乾かすのが目的で、干すのは乾かすための手段なわけです。その後、干し方もなかなか難しく、上手にできないある日、「干しといてくれたん、ありがとう」私は、褒められて育つ子ですから、それからは頼まれなくてもせっせと干します。今では、洗濯も干すのもたたくのも上手なものです。ここに、作業と仕事に関する二つの示唆があると思います。

普通の会社で普通の社員をしているあなたの部下は、与えられた仕事をミスなくやり終わることを目的としていることを上司は理解しないといけないでしょう。また作業指示が仕事となるために必要な目的も、上司と部下の間で共有しておく必要があるでしょう。反対に部下も、目的を理解しようとしなければならないでしょう。

作業と仕事を分けるポイントの一つは目的に向かっているかどうかです、よく働くことは「傍楽」といいますが、私の業界ではプロセスアプローチといいます。会社の仕事の全体は一つ一つのプロセス（伝票を書くといった単体の作業、または営業部や総務部の仕事など）がつながりあってできていますので、隣り合って直接つながりを持っている部署や部門がお互いにやりやすいように情報を提供する。自分の仕事が完璧であればよいというのではなく、もうひと工夫して、敬意と感謝によって仕事をすることが、やがて全体がより良い方向に進むことにつながるということです。

また、上司と部下の関係性では、指導することは大切ですが、部下の性格や能力を^{しんしゃく}斟酌して適切な指導の量を超えないこと。指導される方は、改善点が見つかってよかったと考えること、上司も部下もともに明るく道を探す努力を怠らないことが重要でしょう。暗いと先が見えません。明るく見晴らしの良いところに立つことは、個別の業務にも会社経営にもとても重要なことです。「傍楽」という意識があってその次に、進捗管理や期日管理といった手段が意味を持つてくるのではないのでしょうか。

ご用命をいただいた社員教育の際に、最初に方法や答えをお教えしても、立っている地面がぬかるんでいる会社ではうまくいきません。まず地盤を固めて安心して立てる状態にしてから、技術的な段階に進むことが肝要と考えています。これは社内教育でも同じではないのでしょうか。

